

平成28年度

☆ひまわり通信☆

新しく就任された先生方！！

皆さんこんにちは。4月に入職して3か月が経ちました。最初一日を長く感じましたが、授業や実習を担当するようになってからはあっという間でした。学校の環境に早く慣れて溶け込みたいところですが、年を取るにつれて新しい環境に慣れることが容易でなくなったと感じます。看護教員の仕事をしていると、自分の学生時代のことをよく思い出します。専門学校を卒業して20数年経っていますが、辛かったときのことは、はっきり記憶しているものです。その辛かった分学べたことも多く、人間としても成長できたことも覚えています。とても過酷で大変な看護の道を選んで、この学校に在学されている学生さんたちの、成長の過程に携わることができることに感謝し、共に学びながら成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

石田 しのぶ



4月に入職して3か月が経ちました。

私は、看護教育に携わる前に、訪問看護ステーションに8年間勤めておりました。疾病や障がいを抱えながらも、その人らしく生活している療養者の方々にたくさん出会ってきました。在宅看護では、療養者と家族の生活を整える看護の独自性がより発揮できる場であり、不思議ですが持っている力を引き出せる場であると思っています。

「在宅看護の魅力を学生に伝えたい」と思ったのが教員を目指したきっかけです。上尾市医師会上尾看護専門学校では、原市団地や白樺団地の高齢者の見守り活動や学童保育での演習など地域で生活する人達と実際に関わることがカリキュラムの中に組み込まれていて、演習を通して学生さんたちが、生活に視点をおき、学んでいるところが魅力的だと思いました。在院日数も短縮化され「時々入院、ほぼ在宅」という時代が訪れてきています。退院後の姿をイメージしながら病院で働いていけるよう、学生さんと在宅看護について共に考え学んでいけるよう頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

前田久恵



今年度退職された先生！！

上尾市医師会上尾看護専門学校同窓生の皆さん、お元気ですか。それぞれの現場でご活躍のことと思います。

私は第1回生から第25回生まで約1000名の方々の看護基礎教育に関わらせていただき、今年定年を迎えることとなりました。平成2年の入職依頼この学校でお世話になり、卒業された皆様との忘れられないエピソードが数多く思い出され、この26年間の出来事が走馬灯のように浮かんできています。

私が看護師資格を取得したのは昭和51年です。看護師として病院勤務が8年、その後看護教育に携わり平成2年からは上尾に勤務させていただいています。やはり看護の資格を持てたことで今日まで仕事を続けることができたと思います。仕事を始めた当初は、職場にも恵まれ看護は自分に合っていると感じていて、食事介助もおむつ交換も、また手術時のケアも充実した日々で楽しく働くことができました。それは人の役に立てていると思い込んでいた私の独りよがりからかもしれません。その時の私は看護について人間が生きるためのニーズを充足できるようケアできていたかは疑問です。看護教育に関わるようになり、看護は人が人として生きることを深く考える機会を持たせてくれ、それは患者と、学生と、友人と、同僚と、家族と会話することによって得られたことだと思います。自分が生きる事そのことが看護について学ぶ機会であり、人と関わる仕事を続ける原動力であったことがわかりました。皆さんはどんな風に看護と向き合っていますか。経験し続けられることは変化を生み出しおそらく経験した分だけ成長されたことと思います。

日本では2025年問題を控え、看護師はまだ不足すると予測されています。日本看護協会では今まで、看護師免許を持っている人は75歳まで働きましようと考えていましたが、それでは間に合わず、免許を持っている人は生涯現役で活躍してくださいとなりました。私は定年を迎えましたが、微力ですが学校の人材育成を手伝わせて頂いています。卒業生の皆さんも、努力の結果手にした看護師資格です。今後も看護師として健康な生活の支援に寄与できることを願っています。

看護学校では新たに村上悦子先生が副校長に就任され、上尾市医師会上尾看護専門学校を盛り立ててくださいしています。時の流れと共に新たな体制がスタートしました。多くの方々の健康に寄り添えるよう、同窓生の皆様にも看護師仲間としてともに成長し、さらに看護学校発展のため、力を貸していただければ幸いです。

野澤祐子



皆さま、こんにちは。お元気ですか？在職中は大変お世話になりました。
卒業生の皆様は、看護師としてご活躍のことと思います。頼もしい姿が目に見えます。
判断力が問われる中で看護の面白さが味わえますか？学校にいるとき、「看護とは、生命力の消耗を最少にし、生活過程を整えること」と習いました。
実は私は、教員になる前の現場では、「看護とは」と考える余裕もなく日々の業務に流され、年を重ねていくうちに「質のいい看護を提供したい」と考えるようにはなりましたが、上級の教員になって“5つのものさし”に出会い、改めて具体的に「看護とは」を学習することができたので、現在はアセスメントの段階でそれは看護か否かをしっかり判断して現場に立っているのではないかと思います。現場に戻って、楽しいな。と感じています。生涯学習なのですね。
どうか皆様くれぐれも身体を大切に。これからのご活躍を期待しております。

利根川 ゆかり



第105回 看護師国家試験

平成28年2月14日第105回看護師国家試験が行われ、3月25日発表がありました。

当校の合格率・・・ 本年度も見事 **100%**

全国の合格率は、89.4%でした。

本年度もひまわり通信をご覧頂きありがとうございます。

今回は第25回生が担当させていただきました。私たちは本校で学ばせていただいた「看護とはなにか」を現在、臨床の場で活かしています。これからも初心を忘れず日々精進していきます。皆様くれぐれもお身体にはお気を付けてお仕事頑張ってください。

第25回生 木村仁美・坂本佳那瑛・佐野友香・鈴木珠奈・根岸 楓・藤井あゆみ



役員改正のお知らせ

同窓会向日葵会では会長佐藤英司さん、副会長高柳克江さんに努めていただきました。5年間にわたり向日葵会を統率し、同窓会の開催、定期役員会運営など担っていただき同窓会の発展に尽力していただきました。これまでの取り組みに深く感謝申し上げます。しかしながら諸般の都合により継続できないこととなり改めて会長、副会長を改正することとなりました。つきましては

会長 越智富美子（13回生）さん 上尾市医師会上尾看護専門学校勤務

副会長 斉藤喜子（16回生）さん 上尾市医師会上尾看護専門学校勤務

お二人には同窓会役員会より推薦いただき承諾していただきました。ともに上尾医師会上尾看護専門学校に勤務されていて、連絡調整がスムーズに運べるのではないかと思います。改めて会員の皆様にお知らせいたします。

同窓会の皆様こんにちは。

13回生の越智です。

今回、教員として上尾市医師会上尾看護専門学校においてお仕事をさせて頂いている中で、同窓会会長のお話を頂き、受けさせていただくことになりました。

頼りない会長ではありますが、大好きな アゲカン と共に今ある自分を実感しています。

この4月に卒業された同窓生が実習先で素敵な笑顔で迎えてくれる喜びを感じています。

沢山の仲間たちが後輩の成長を支えてくれて、さらに仲間が増えていく、嬉しいですね。

同窓生の皆様のますますのご健康とご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

越智富美子



昨年入職しまして、暖かい学校で2年目を迎えました。看護学校って、看護教員ってこんなに仕事があるのか！？と驚きの毎日です。そんな中で、「同窓会役員を・・・」なんていう、驚きの言葉を頂き、「私が？なんで？」という不思議な状態に、今、あります。

私、何ができるの？という気持ちですが、同窓生として何か協力できる事があればと思っています。多くの同窓生の方々に協力を得ながら、ひまわり会が末永く続くよう、お手伝いさせていただきます。

どうぞよろしくお願い致します。

斉藤喜子



<訃報>

この度、同窓会向日葵会元会長の佐藤英司様が病氣療養中のところ、平成28年10月6日お亡くなりになりました。御存命中には同窓会活動に御尽力頂き、ここに生前のご厚誼に感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。